

令和3年12月定例会 一般質問通告要旨

順番 1 1

| 質問議員名 | 板倉 久徳 | |
|---------------------------------|--|-------|
| 質問項目 | 質問要旨 | 要求答弁者 |
| <p>1 新発田市におけるインターネットの活用について</p> | <p>我が国のインターネット利用者は、総務省の調査によると6歳以上の個人の9割近くと発表されており、利用端末においては、パソコンのみならずスマートフォン、タブレット、テレビ、ゲーム機と、様々です。国民の多くがインターネットを利用し、多くの情報を手に入れようとしている現状に、多くの企業や自治体はウェブサイトやSNSを活用した情報発信を行っています。新発田市においても新発田市情報化推進計画が策定されており、新発田市公式ホームページでは、くらしの情報、市政の情報、事業者の方へ、施設案内、観光情報と、情報を発信しているほか、あんしんメール、Twitter、Facebook、LINE、Instagramなども活用して情報を提供しております。全国の自治体のホームページを見ると多種多様で、作られた時期や自治体の情報発信力などを感じることができます。自治体のホームページは自治体の顔であり、まちづくり総合計画のビジョンを進める上でも大きな役割を果たすツールであると考えております。</p> <p>そこで、6つ質問いたします。</p> <p>(1) 現在のインターネットを使った情報発信の現状と課題は。</p> <p>(2) ホームページやSNSの利用者状況は。 (アクセス数、フォロワー数)</p> <p>(3) 情報デザイン戦略を強化してはどうか。</p> <p>(4) 商工振興における情報デザイン戦略を強化してはどうか。</p> <p>(5) 市役所や公共施設に情報端末を設置してはどうか。</p> <p>(6) 既に開設している施設もあるが、文化会館、露谷虹児記念館など、主要公共施設のホームページを開設してはどうか。</p> | 市長 |
| <p>2 観光ガイドの活用について</p> | <p>新発田市には多くの歴史的観光資源があります。新発田城をはじめ各施設には現在は感染症の影響で減少しているものの、多くの方々が訪れています。現在、大倉喜八郎翁別邸蔵春閣の移築工事や民間主導の門前町プロジェクトなども進められており、今後の新発田市における観光の魅力に期待が高まっております。これまで、ボランティア団</p> | 市長 |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>体による観光ガイドによって、新発田城をはじめ観光客に新発田の歴史や魅力を伝えていただいております。今後の、観光地の魅力を伝える上でも大きな役割を果たすと考えますが、3つ質問いたします。</p> <p>(1) 観光ボランティア設置の経緯は。</p> <p>(2) 今後の観光ボランティアの活用計画は。</p> <p>(3) 観光ガイドさんに堀部安兵衛などの法被を着てもらってはどうか。</p> | |
|--|--|--|